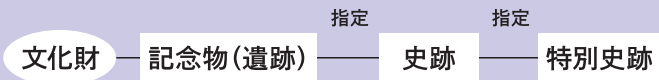


こう ずけ さん び
上野三碑 The Three Stelae of Kōzuke Province

やまのうえ ひ た ご ひ かな いざわ ひ
高崎市に現存する山上碑・多胡碑・金井沢碑の総称。
古代上野国(群馬県地域)の歴史を語る貴重な石碑として、
いずれも国宝と同格の特別史跡に指定されています。

国内に現存する平安時代以前に建立された石碑18例のうち、3例が集中していることは、当地域に、漢字や石碑などの大陸からの渡来文化に通じる人々が存在していたことを示しています。



文化財には、有形・無形文化財や民俗文化財などのほか、記念物(遺跡・名勝地・動植物・地質鉱物)があります。
遺跡のうち、重要なものが「史跡」に、なかでも特に重要なものが「特別史跡」に指定されます。

特別史跡 Yamanoue Stela

やまのうえ ひ こ ふん
山上碑及び古墳 (山名町)

681年建立。
母親を供養するとともに建立者自身の系譜を記す。
完全な形で残る碑として、また日本語順に漢字を記した碑として日本最古である。



山上碑覆屋と山上古墳



せ かい き おく
「世界の記憶」 Memory of the World

世界的に重要な記録物の保存活用を促進するために、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が認定します。「世界遺産」「無形文化遺産」と並ぶ三大遺産事業のひとつとされています。
上野三碑は、東アジアにおける人と文化の交流、それによる新たな地域社会形成の実像を明らかにした原資料として評価されました。



登録認定書

特別史跡 Tago Stela

た ご ひ
多胡碑 (吉井町池)

711年(和銅4)の多胡郡設置を伝え、国の歴史書『続日本紀』と一致する内容を刻む。
大陸伝来の書風を残し、書道史上の評価も高い。



多胡碑覆屋



た ご ぐんしょう そう あと
多胡郡正倉跡 Historical Sites of Tago County

郡の役所を構成する正倉(税として集めた稲を保管する倉庫で、最も格式の高い正倉を法倉と呼ぶ)の発見により、多胡郡建郡は、文献史料・石碑・遺跡の3つの資料が残る日本古代史上唯一の事例となりました。2020年(令和2)3月に国史跡に指定された「上野国多胡郡正倉跡」の発掘資料の一部は、2階「多胡郡衙のへや」で常設展示しています。



多胡郡正倉跡想像画(2016年制作)

特別史跡 Kanaizawa Stela

かな い ざわ ひ
金井沢碑 (山名町)

726年(神亀3)建立。先祖を供養し、一族の繁栄を祈る。当時の家族、仏教思想や行政制度の普及の様子が分かる。碑文中の「羣馬」は、県内最古の「群馬」の用例である。



金井沢碑覆屋



「多胡碑」史跡地

多胡碑記念館 吉井いしぶみの里公園



上野三碑の現地では、ボランティアが環境美化や案内・解説にあたっています。
※活動日については、当館までお問い合わせください。